

山中直明（慶應義塾大学 新川崎先端研究教育連携スクエア 特任教授）

1983 慶應義塾大学大学院修士課程了。同年日本電信電話(株)武蔵野電気通信研究所入社。以来、NTT 未来ねっと研究所、NTT ネットワークシステム研究所特別研究員（全3000名の研究者の中で11名のみ選択された研究員制度）として将来の Broadband ネットワーク、高速・広帯域交換方式の研究開発、ATM 網におけるトラヒックマネジメントに関する研究、超高速 ATM ノードシステムの研究開発、GMPLS、光バックボーンの研究に従事。2000 米国電気学会 IEEE において当時日本人最年少 Fellow として選択、2004 慶大・理工・情報・教授、2018-2022 慶應義塾先端科学技術研究センター 所長として産官学連携の責任者を務める。現在慶應義塾新川崎先端研究教育拠点で新機能ファイバを用いたオール光ネットワークの研究開発に従事、現在に至る。工学博士。

1990, 1994, 1998 IEEE ECTC 40th, IEEE ECTC 44th 及び IEEE ECTC 48th Best Paper Award, 1995 IEEE CPMT Part-B The Best Transaction Paper Award, 同年電気通信普及財団テレコムシステム技術賞, 1998 マイクロエレクトロニクスシンポジウム最優秀論文賞, 1999 IEMT/IMT Best Paper Award, 電子情報通信学会論文賞, 2015 電子情報通信学会業績賞, 2018 電子情報通信学会功績賞、2011 電子情報通信学会通信ソサエティ論文賞, IEEE ISAS2011 Best Paper Award, IEEE Globecom 2015 Best Paper Award 受賞。IEEE Communication Surveys Broadband Network Area Editor, IEEE Com. Mag. Technical Editor, IEEE ComSoc Director, IEEE ComSoc Asia Pacific Board Director, 電子情報通信学会フォトニックネットワーク研究会委員長, 電子情報通信学会東京支部長, 電子情報通信学会編集理事、企画理事、電子情報通信学会副会長、総務省 Beyond 5 G 時代の有線ネットワーク検討会主査等を歴任。現在、学術会議連携会員、Photonic Internet Lab. 代表、JST 国際共同研究推進事業 研究主幹 (PO)、IEEE フェロー、IEICE フェロー、情報処理学会シニアメンバー、電気学会会員